

平成26年10月1日

大津線で「けいおん！」放送開始5周年を記念した  
『HO-KAGO TEA TIME TRAIN』を運行します。

～「けいおん！」特製乗車券も発売！～

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：加藤好文）では、人気アニメ「けいおん！」の放送開始5周年を記念したラッピング電車『HO-KAGO TEA TIME TRAIN（放課後 ティータイム トレイン）』を、平成26年10月6日（月）から大津線で運行します。

アニメ「けいおん！」は、平成21年4月から6月までの第1期と、平成22年4月から9月までの第2期の2回にわたりTBS系列で放送された人気アニメで、平成23年には、映画版の全国上映を記念し、同じく大津線で映画「けいおん！」ラッピング電車を運行いたしました。

今回のラッピング電車では、車両外観の全面をキャンバスにし、アニメに登場するメインキャラクター5人や5周年記念のロゴマークなどをデザイン。また、乗車中もお楽しみいただけるよう、車内にもラッピングを施すほか、5周年記念のヘッドマークも掲出します。なお、5周年記念のラッピング電車が運行されるのは全国初となります。さらに、10月11日（土）からは、メインキャラクターをデザインした特製乗車券の発売も開始します。この特製乗車券は見開きA3サイズに収められており、各乗車券はギターピック型になっています。

他では見ることのできない人気アニメのラッピング電車の運行や特製乗車券の発売を通じ、日頃から大津線をご利用いただいている沿線のお客さまはもちろん、広く大津線沿線外のお客さまにも大津線にお越しいただき、大津地域の活性化に寄与できるものと考えています。

詳細は別紙のとおりです。

【ラッピングデザインイメージ（車両外装）】



(別紙)

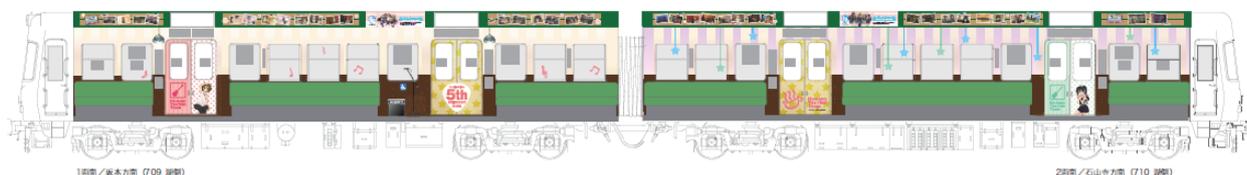
## 1. ラッピング電車の運行

- (1) 使用車両 700形車両 1編成(709-710号車)
- (2) 期 間 平成26年10月6日(月)から平成27年3月31日(火)まで  
※当面の間、運行する時間を固定します。但し、車両点検等により運休する場合がありますので、運行情報は京阪電車大津線ホームページをご覧ください  
<http://www.keihan-o2.com>
- (3) 運行区間 大津線のうち石山寺-坂本間
- (4) 内 容 (車両外装)  
「けいおん!」に登場するメインキャラクター5人(平沢 唯、秋山 澪、  
たいなか りつ こしぶき つむぎ なかの あずさ  
ひらさわ ゆい あきやま みお  
田井中 律、琴吹 紬、中野 梓)のほか、メンバーが担当する楽器や5人が構成するバンド名「放課後ティータイム」のロゴマーク、5周年記念のロゴマークなどを車両外装全面にデザイン。

### (車両内装)

メインキャラクター5人やロゴマークをデザインするほか、テレビアニメや映画に登場したシーンを第1話から登場順に並べます。

### 【ラッピングデザインイメージ(車内壁面一例)】



### (網棚上部画像一例)



### 【ヘッドマークイメージ(一例)】



※ヘッドマークは合計10種類を制作し、定期的に差し替え掲出予定。

掲出車両は、700形車両 1編成(709-710号車)

## 2. 特製乗車券の販売

- (1) 発 売 日 平成26年10月11日(土) 午前10時から
- (2) 場 所 ①大津線浜大津駅定期券発売所  
※初日のみ浜大津駅特設販売コーナー(改札口付近)にて発売  
②第21回鉄道フェスティバル 京阪電車ブース  
(東京・日比谷公園、10月11日(土)・12日(日)開催)
- (3) 販売券種 大津線1日フリー乗車券(大人500円)×6枚の1セット  
※お一人様につき、5セットまでご購入いただけます
- (4) 価 格 1セット3,000円
- (5) 発 売 数 3,000セット
- (6) 通用期間 平成27年3月31日(火)までのお好きな一日  
※押印された乗車日のみ有効
- (7) 通用区間 京阪電車大津線(京津線、石山坂本線)
- (8) 様 式 A3二つ折り(A4仕上がり)で、作品に登場するメインキャラクター5人の各デザインと5周年ロゴのデザインの計6種類の絵柄の乗車券が1セットになっています。

### 【特製乗車券イメージ】

(表紙)



(内面上)



(裏面)



(内面下・乗車券)



(参考)

【TVアニメーション「けいおん！」とは】

芳文社刊行の4コマ漫画誌「まんがタイムきらら」にて連載された同作品を元にTVアニメーション化したもので、女子高の軽音楽部でガールズバンドを組んだ5人のゆるやかな日常生活を描いた作品です。

平成21年4月からTBSほかにてテレビアニメの放送が開始。作中の楽曲がヒットチャートの上位にランキングしたり、中学・高校の軽音楽部入部希望者が殺到するなど、社会現象とも言える反響がありました。

(C) かきふらい・芳文社／桜高軽音部

以上